

長岡京市地域公共交通協議会部会 令和7年度検討結果について

- 部会の設置について P.3
- 長岡京市地域公共交通協議会部会の実施状況 P.4
- 現状整理① 評価指標について P.5
- 現状整理② 需要の把握について P.6
- 現状整理③ サービス拡充の可能性について P.7
- 現状整理④ 利用者増の取組みについて P.8
- まとめ P.9
- 参考資料 別冊

令和7年度検討（案）：今後の展開へ向けた現状の整理

重要性を増すはっぴいバスについて、今後の施策展開を検討するにあたり、改めて現状を整理する事により、次年度以降へ向けて検討すべきポイントを洗い出す（はっぴいバスで何ができているのか、何ができていないのか）。

整理事項（例）	内容
評価指標	現状と指標はマッチしているか、見直しも含めて
運行拡大の可能性	空白地・未運行地域、ルート・ダイヤ・停留所について
利用者増の取組み	済生会病院の事例、更なる利用促進の可能性
需要	乗客数の推移、他の潜在的なニーズは
手段と経費	コミバスの輸送力、収支率
運行のあり方	空白地解消、地域からの要望、減便等への対応

令和7年度

今年度の整理をとりまとめ、協議会にて報告（年度中）

令和8年度（次期協議会で決定）

令和7年度の整理を基に、令和8年度より更に具体的な事項の検討へ

長岡京市地域公共交通協議会部会の開催状況

■ 部会の目的

- 重要性を増すはっぴいバスについて、変化する状況に応じ、継続して運行のあり方について検討していく。令和7年度は、今後の施策展開を検討するにあたり、改めて現状を整理する事により、次年度以降へ向けて検討すべきポイントを洗い出す。

■ 部会の開催状況

- 第1回：令和7年10月20日（月）
 - 第2回：令和7年12月22日（月）
 - 第3回：令和8年 2月 2日（月）
- ） 現在までに、計3回開催（非公開）

■ 主な協議内容

これまでの運行の経緯、現在のルート、ダイヤや利用状況データ等をもとに、現在のはっぴいバスの運行について再確認。

事業実績が目的に適っているか、効果を発揮しているか、これまでの実績や事業評価の状況について再確認。

地域の移動実態や需要について、バス停ごとの利用実績や、他の施設送迎の実績や、タクシー協会の協力によりタクシーの利用状況等についても把握。

運行の最適化やさらなる拡充の可能性を見据え、市民のニーズや現状の課題について確認するとともに、様々な移動手段の検証に向け、タクシー協会の協力により活用事例の確認。

現状整理① 評価指標について

令和7年度部会での検討①評価指標について

現状

- ・「空白地の解消」「多様な世代の外出支援」「利用状況」「収支率（参考）」の評価を実施し事業の成果を判断

部会での整理、意見

- ・事業が続く中で運行内容や実績が変化してきている。
- ・事業の目的と現状を踏まえた、できるだけ明確な指標や目標値の設定が望ましい。既に目標値を達成しているものもある。
- ・改めて、どのような役割や効果を事業の目標とするか。それにより指標も明確になる。
- ・他市では達成状況により事業の見直しを設定している事例もある。
- ・収支率は参考指標ではあるが、どの程度のバランスを考えるか。

協議結果

➡改めて現在の事業の考え方や実態にマッチする評価指標や目標値設定の再整理・再検討が望ましい。

今後の検討事項（案）

- ・ 指標の項目の検討
- ・ 目標値の見直し
- ・ 達成状況による事業見直しの設定 等

現状整理② 需要の把握について

令和7年度部会での検討②需要の把握について

現状

- ・乗客数は増加傾向にある
- ・利用の多い停留所や地域の傾向がわかってきている
- ・タクシーや施設送迎等も相応の輸送実績と推測される

部会での整理、意見

- ・運行の最適化のため需要の把握は必要だが、難易度は高い。調査方法は要検討。
- ・はっぴいバスの乗降データの活用。
- ・市内タクシーの利用状況の把握。
- ・他の輸送資源（おでかけいけるん号、東部の企業送迎等）の利用実態の把握。

協議結果

➡交通ネットワークの最適化のため、より効果的な運行を目指し、様々なデータを基に市内の移動実態や需要の把握が望ましい。

今後の検討事項（案）

- ・各利用実績等から市内の移動実態、移動需要の把握
- ・空白地や未運行地域の需要調査 等

現状整理③ サービス拡充の可能性について

令和7年度部会での検討③ サービス拡充の可能性について

現状

- ・マイクロバス3ルート×8便/日、月～金の運行
- ・交通空白地を中心に住宅地と駅・病院間をつなぐ運行
- ・乗客数は増加傾向にある

部会での整理、意見

- ・残っている空白地や運行のない時間帯の検討、バス停のない地域からの運行の要望もある。
- ・必要性については、既存サービスへの影響等も含め要検討。輸送実績等から移動需要の把握を。祝日の利用は平日の半分。
- ・バス停の方の移設により拡充につながった西の京バス停の好事例。
- ・施設・学校・企業等他の輸送資源との連携可能性は。
- ・運転士不足や目一杯のダイヤ、経路の問題等、バスの運行拡大は課題が大きい状況。
- ・タクシー活用の可能性。他市では実証運行しつつ課題もある

協議結果

➡ サービス拡充の必要性や可能性について、様々な角度から引き続き検討を。

今後の検討事項（案）

- ・空白地や未運行地域、運行のない時間帯や土日のカバー可能性
- ・他の輸送資源の活用可能性 等

現状整理④ 利用者増の取組みについて

令和7年度部会での検討④利用者増の取組みについて

現状

- ・ 令和4年6月より3ルートに拡大
- ・ 乗客数は2年連続で過去最高を更新
- ・ 利用の多い停留所の傾向あり、済生会病院の乗降数も増加傾向

部会での整理、意見

- ・ 京都済生会病院利用の運賃無料化は大きな利用がある。病院負担だが病院側にもメリットがある。
- ・ 病院以外にも商業施設・学校・企業等との連携可能性は
- ・ 西の京バス停移設による利便性向上の事例
- ・ 単なる便数増等のバスによる運行拡大は課題が大きい
- ・ 路線バスの乗客を奪うようでは本末転倒、運賃の不均衡の問題
- ・ 効率を求める風潮、利用者の意識付けも重要

協議結果

➡これまでの取組みや他地域の事例等、利用者増につながる取組みについて引き続き検討を。

今後の検討事項（案）

- ・ 利便性の向上
- ・ 他の事業所等との連携の可能性
- ・ 意識付けの取組み（モビリティ・マネジメント） 等

まとめ：今後に向けた検討事項（案）

今年度の整理をもとに、次年度以降の検討事項（案）について

今後の検討事項（案）	内容
評価指標	<ul style="list-style-type: none">・ 指標の項目の検討・ 目標値の見直し・ 達成状況による事業見直しの設定 等
需要の把握	<ul style="list-style-type: none">・ 各利用実績等から市内の移動実態、移動需要の把握・ 空白地や未運行地域の需要調査 等
サービス拡充の可能性	<ul style="list-style-type: none">・ 空白地や未運行地域、運行のない時間帯や土日のカバー可能性・ 他の輸送資源の活用可能性 等
利用者増の取組み	<ul style="list-style-type: none">・ 利便性の向上・ 他の事業所等との連携の可能性・ 意識付けの取組み（モビリティ・マネジメント） 等

➡令和8年度からの更に具体的な検討は、本報告を基に次期協議会で決定する。各項目は相互に関連するため、総合的な検討を想定。